

おかげさまで150号の発行となりました



第1号
(昭和39年)

記念すべき第1号はB4サイズ(両面)の1枚物の発行でした。



第50号
(昭和60年)

表紙の写真は「ひろげようボランティアの輪」を合言葉に開催した第2回ボランティアフェスティバルの様子になります。

第100号
(平成19年)

表紙の写真は赤い羽根共同募金運動の街頭募金活動の様子
当時は駅前周辺を中心に募金活動を行っていました。



いわみざわ 社協だより



150号
R6.7発行



岩見沢市社会福祉協議会
岩見沢市共同募金委員会

岩見沢市社会福祉協議会
イメージキャラクター
ざわたま

ホームページ
QRコード

〒068-0031 岩見沢市11条西3丁目1番地9 岩見沢広域総合福祉センター内

- 総務課・地域福祉課 TEL 22-2960
- 高齢者福祉センターふれあい TEL 23-7588
(〒068-0820 岩見沢市東山2丁目1番地1)
- 居宅介護支援事業所 TEL 23-8224
- 訪問介護事業所 TEL 25-6229
- 相談支援事業所 TEL 25-6248
- つみき園 TEL 24-2810
- 岩見沢市成年後見支援センター TEL 35-5210
- 岩見沢市ボランティアセンター TEL 25-5516
- 栗沢支所〈毎週水曜日・午前中〉 TEL 22-2960
(〒068-0125 岩見沢市栗沢町南本町30番地)
- 北村支所〈毎週木曜日・午前中〉 TEL 56-2281
(〒068-1213 岩見沢市北村赤川593番地1)

赤い羽根共同募金の助成金によって発行しています。



写真:こども読書会 読み聞かせの様子



ボランティアのはじめの一步

特集

ボランティアに興味がある はじめたい 知りたい...

ボランティアとは



ボランティアの語源はラテン語の『vol』や『voluntas』等であるといわれており、自由意志・自ら進んでという意味があります。

また、ボランティア活動には、次のとおり4つの原則があり、自発的な意志に基づき、主体的に身近な人たちや社会貢献する活動といえます。

ボランティアを体験したい

社協では、ボランティアの普及・推進のため「岩見沢市ボランティアセンター」を運営しており、ボランティアに関する相談・情報提供や調整、さらにボランティアの養成講座や活動者同士の交流会など、様々な取組を行っています。

自発性・主体性

誰かに強制されて行う活動ではありません

社会性

趣味などの個人で完結する活動ではなく、社会に向けて発信する活動です

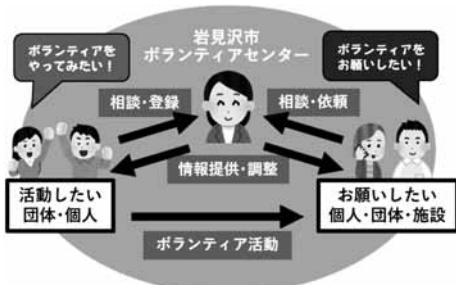
【ボランティア活動の原則】

無償性

経済的な対価を求める活動ではありません

創造性・先駆性

誰もやっていないけれど社会にとって必要ことをやるという面をもっています



次のページ 様々なボランティア体験ができる講座を開催します!!

「これがしたい」がきっと見つかる

ボランティア体験講座

7月23日(火)
10:00～13:00

炊き出し訓練

ハイゼックスとアイラップで
炊き出しの体験



7月23日(火)
13:30～15:30

車いす高齢者 疑似体験

車いすの操作や高齢による
身体の変化を体感



複数受講歓迎!



7月25日(木)
10:00～12:00

点訳体験

講義：点訳の歴史
体験：点字の練習



7月25日(木)
13:00～15:00

手話体験

聴覚障がい者の生活や
手話単語を知る



7月30日(火)
13:30～15:00

ふまねっと

認知症予防に効果的!
頭と身体を使った運動



8月1日(木)
10:00～12:00

体験 「本の世界を楽しもう」

読書や工作、読み聞かせ体験



8月1日(木)
13:30～15:30

ガイド体験

視覚障がい者が安心する
ガイドの方法を学ぶ



8月6日(火)
13:00～16:00

地域避難所 設置・運営体験

会場を避難所に見立て
ダンボールベッド等を設置



会場：岩見沢広域総合福祉センター
(11条西3丁目1番地9)

定員：各講座 20名

受講料：1講座 300円

締切：7月16日(火)まで

申込フォーム



《令和5年度 事業報告及び決算報告(概要)》

令和5年度 決算報告 (単位：円)

収入科目	決算額
会費収入	4,029,500
寄付金収入	1,956,053
補助金収入	59,686,478
受託金収入	56,240,099
負担金収入	513,978
共同募金配分金収入	5,798,098
介護保険事業収入	81,538,613
障害福祉サービス等事業収入	41,551,600
事業収入	3,404,650
受取利息配当金収入	19,044
雑収入	2,118,366
事業収入合計①	256,856,479
積立資産取崩収入他①-②	20,965,043
総収入額	277,821,522

支出科目	決算額
人件費	204,867,013
事業費	55,733,706
事務費	11,586,334
助成金	5,182,469
負担金	452,000
事業支出合計②	277,821,522

実質赤字 (①-②) ▲20,965,043

今期は実質的な赤字額が20,965,043円となっています。年々「会費・寄付金」等の収入が減少しており、前年までの繰越金と積立金を取崩しながら事業を行っております。

～会費・寄付金等、多くの皆様からの
ご支援をお待ちしています～

地域ふれあいサロンの充実【重点】

サロン活動の立ち上げ支援や活動者研修交流会を開催し、活動の活性化を図るとともに、サロンの手引き作成や出張ふれあいサロンを開催し、新規ふれあいサロンの普及に努め、1団体が設立となった。(サロン登録団体22団体)

運営基盤の強化と財源確保【重点】

安定的な自主財源を確保するため、会員の募集を積極的に行った。また、職員が各自の役割を的確に遂行できるよう、各種研修会や講習会に積極的に参加し、意識改革と資質向上に努めた。

福祉サービス事業の推進及び経営の健全化【重点】

介護事業等の福祉サービスについては、計画に沿って経営改善に努め、訪問介護事業、つみぎ園の各事業で収支改善が見られるものの、全体としては大変厳しい経営状況が続いている。中でも、通所介護事業(栗沢デイサービスセンター)は黒字転換することなく、令和6年3月末の指定管理期間満了により事業を終了、居宅介護支援事業でも施設入所や入院により利用者数は前年に比べて減少し収支が悪化している。

地域福祉の推進

- 地域福祉懇談会 (2回)
- 出張ふれあいサロン (2回)
- 地域ふれあいサロン活動者研修交流会 (15人)
- 除雪ボランティア派遣事業 (2世帯)
- やさしい在宅介護講習会 (14人)
- 地域活動推進セミナーの開催 (24人)
- ボランティアセンター運営事業の実施
 - ◇ボランティア相談 (25件)
 - ◇ボランティア派遣支援 (46件)
 - ◇広報誌「おもいあい」の発行 (3回)
 - ◇各種ボランティア養成講座 (5講座)
- 将来を見据えた福祉教育の推進
 - ◇児童・生徒のボランティア体験研修会 (29人)
 - ◇指定地域福祉教育セミナー (16人)
 - ◇福祉体験学習の実施 (25回・1086人)
- 災害ボランティアセンターの組織整備
 - ◇災害ボランティアセンター研修会 (33人)
- 生活困窮者等への支援
 - ◇生活福祉資金貸付事業 (11件)
 - ◇愛情銀行緊急生活費交付事業 (13件)
 - ◇安心サポート事業 (10件)
- 地域における権利擁護の推進
 - ・日常生活自立支援事業 利用契約 (17件、新規3件)
 - ・成年後見支援センター事業
 - ◇運営協議会・事例検討会の開催
 - ◇市民後見人養成講座の開催 (基礎編 10人、フォローアップ編 9人)
 - ◇法人後見の受任 (20件、新規7件)
 - ◇法人後見支援員の活動 (登録者46人、活動者25人)
 - ◇法人後見支援員 スキルアップ研修会 (31人)
 - ◇成年後見制度講演会 (35人)



《令和6年度 事業計画(重点事業)・予算概要》

令和6年度 事業予算 (単位：円)

収入科目	予算額
会費収入	4,038,000
寄付金収入	1,520,000
補助金収入	69,023,000
受託金収入	48,240,000
負担金収入	400,000
共同募金配分金収入	5,527,000
介護保険事業収入	69,032,000
障害福祉サービス等事業収入	44,485,000
事業収入	3,946,000
受取利息配当金収入	2,000
雑収入	797,000
事業収入合計	247,010,000
積立資産取崩収入他	5,349,000
総収入額	252,359,000

支出科目	予算額
人件費	187,330,000
事業費	45,771,000
事務費	13,431,000
助成金	5,144,000
負担金	683,000
事業支出合計(総支出額)	252,359,000



当会の基本理念である「支え合い ともに生きる 住みよい地域づくり」の推進に向け、次の3点を重点事項に掲げ、地域福祉のさらなる向上と充実を図り、住み慣れたところで誰もが安全で安心して幸せに暮らせる地域づくりを目指します。

重点項目1 第2期地域福祉活動計画の策定

第2期岩見沢市地域福祉計画と整合性を図りながら、様々な福祉課題に対応するための今後の活動方針と、住民、行政、ボランティア、福祉団体等との協働のもとに実践する具体的な活動計画の策定に取り組みます。

重点項目2 運営基盤の強化と財源確保

会費や寄付金、共同募金の配分金が減少傾向をたどっており、事業実施の財源不足が生じているため、更なる業務効率化やコスト削減を行うとともに、安定的な自主財源の確保に向け、ホームページやざわタマ（イメージキャラクター）などの活用により社協の活動への理解を深め、会員の拡大を図ります。また、業務全般にわたっての総合的な見直しを引き続き行うとともに、一層の組織体制の強化と今後の事業展開の中期的な目標・方針を明確にし、安定的かつ持続可能な財政基盤の確立に向け、第3期発展強化計画の策定に取り組みます。

重点項目3 福祉サービス事業の推進及び経営の健全化

当会の介護3事業（居宅介護支援・訪問介護・通所介護）のうち、通所介護事業（栗沢デイサービスセンター）については、岩見沢市より指定管理を受託し運営してきましたが、指定管理期間満了と同時に施設が廃止となるため、令和6年3月末で事業を終了しました。

令和6年度からは、居宅介護支援・訪問介護の2事業となりますが、経営改善計画に沿ってサービス管理体制の強化、業務のスリム化など、運営形態を詳細に検証しながら、効率的運営や抜本的対策により、経営の健全化を目指します。



— 社協会費ご協力をお願い —



社会福祉協議会は、市民の皆さまに支えられながら活動する民間の福祉団体です。
市民の皆さまと協働して地域福祉活動を進めるため、会員会費制度により、財源確保に努めています。
1口から受け付けておりますのでご協力をお願い致します。

区分	構成員	会費		令和5年度 会費報告	
一般会員	町内会・自治会の会員	1世帯	100円	25,845世帯	2,584,500円
賛助会員	個人で賛同された方	1口	1,000円	485口	485,000円
特別会員	法人・事業所・団体など	1口	5,000円	80口	400,000円
企業会員	株式会社・有限会社など	1口	10,000円	56口	560,000円
※特別会員・企業会員のホームページアドレスのリンクを当会ホームページに、協力会員として掲載いたします。ご希望があればお申し出ください。				合 計	4,029,500円

ご寄付の受付を行っております

寄付金や寄付物品は、社会福祉協議会の事業や運営に活用されています。
一人ひとりが地域で必要なサービスや支援を受けながら、いきいきと暮らし続けることができるまちづくりを進めるために、ご協力をお願いいたします。
なお、寄付物品の中にはお受けできないものもありますので、事前にお問い合わせください。



心温まる善意～ご寄付いただきありがとうございます～

※令和6年1月1日から4月30日までのご寄付で掲載承諾を得た方のみ掲載しております（順不同・敬称略）



寄付金		リングブル	エコキャップ	その他	
(300,000円) 中田 詳子 (50,000円) 山本 ツヤ子 (30,000円) 三澤 哲夫 中山 文子 山本 光良 東 越 巖 宮 正 子 三浦 猛 籠島 和義 長森 暁 今村 幸夫	(20,000円) 久保 克利 大橋 栄子 鈴木 彰 渡邊 弘子 武井 勝男 (13,000円) HSCスキークラブ (10,000円) 関 正 規 山 谷 豊	大原 拓磨 工藤 昇・修子 中川 繁雄 浜本 吉井 俊明 第一小学校児童会 西 町 会 必成朋友会 みどり保育園 美流渡町内会 (有)北中央防災設備	伊藤 清美 工藤 昇・修子 藤田 充宏 矢野 美恵 吉井 俊明 岩見沢市立総合病院 リハビリテーション科 西町会「すこやかサロン」 必成朋友会 南が丘町内会 美流渡町内会 (有)北中央防災設備 緑陵高校ボランティア部	伊藤 清美 岩見沢グリーンライオンズクラブ 岩見沢市赤十字奉仕団栗沢班 岩見沢ライオンズクラブ 岩見沢六条郵便局 (有)北中央防災設備 岩見沢メープルライオンズクラブ 稲穂みのり会 TK.connection	古切手 古切手 古切手 古切手 古切手 古切手 古切手 書き損じ葉書 古切手 使用済みテレフォンカード 紙おむつ 尿取りパッド
他7件		他22件	他20件	他10件	



会費や寄付による活動内容

- 地域の見守り・交流活動支援
- 福祉団体等の活動支援
- ボランティア活動の普及・推進
- 福祉教育の推進 など



ボランティア養成講座開催



福祉体験学習



地域ふれあいサロンの支援

この記事に関するお問合せ ▶ 総務課 ☎22-2960

連載

【社協の事業】

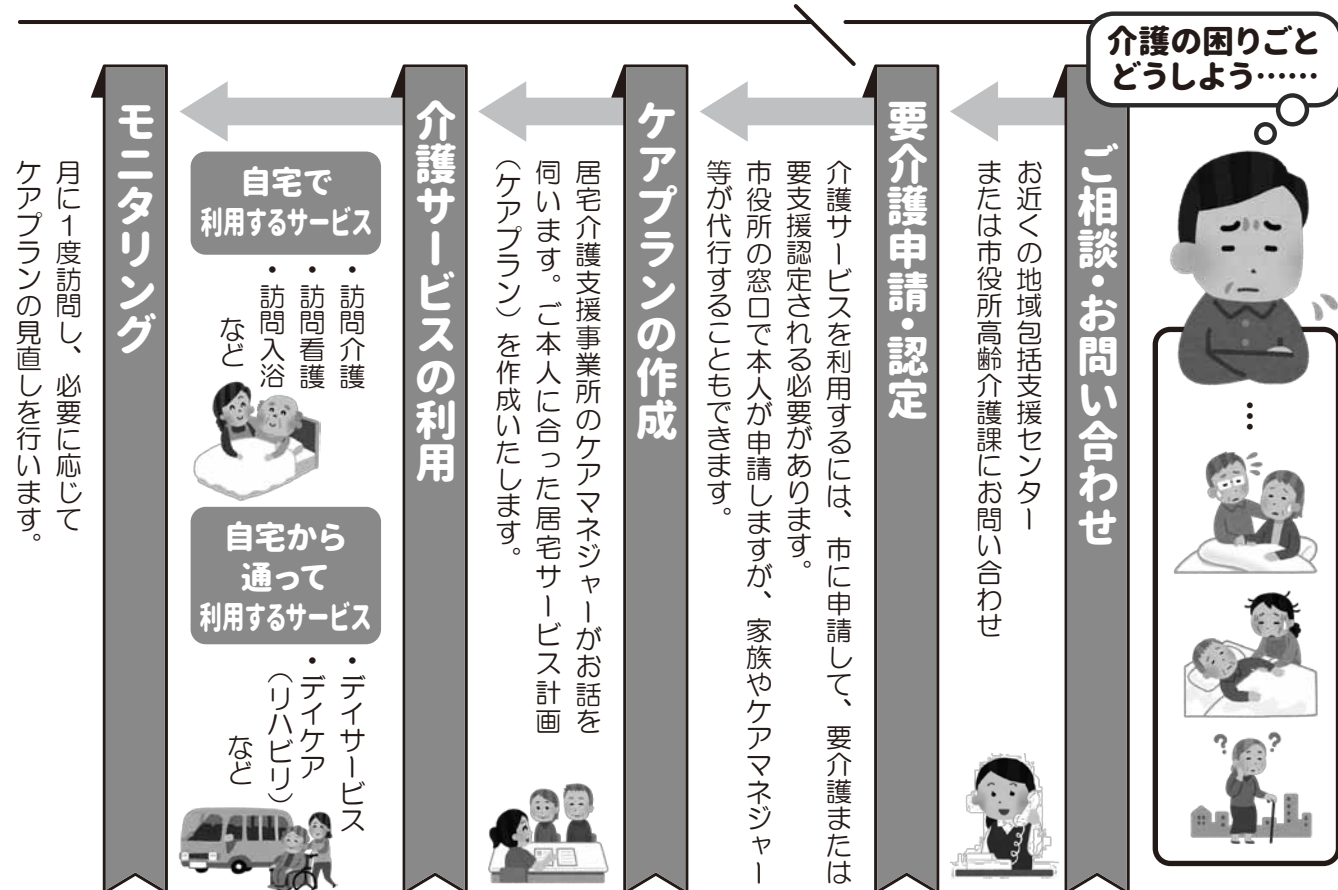
社会福祉協議会がどのような事業を行っているか知りたい! そんな疑問を解決する為、全6回に分けて毎月掲載していきます。

vol.1

〈居宅介護支援事業所〉

社協では、介護保険制度開始（平成12年）から事業所を開設し、介護認定を受けた在宅の要介護者又は要支援者が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、長年の経験と知識豊富なケアマネジャーが利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた、介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡・調整を行っています。

居宅介護支援利用の流れ



利用者の声

- ・介護保険の利用について丁寧に説明してくれたので、安心して利用することが出来ました。
- ・自宅で生活したいという親の介護について相談したところ、看護師やヘルパーさんが来てくれ、本当に助かりました。可能な限り自宅で生活させてあげたいです。
- ・歩行器や手すりについても相談して身体に合ったものをレンタル出来て助かりました。



赤い羽根 「岩見沢市限定ピンバッジ」 完成

2024年は「ざわたま」と「百餅祭り」をコラボしたデザインです！製作費を除いた金額が募金となります。
岩見沢市のPRにもつながりますので、ご協力をお願いいたします。
※8月下旬以降には「初音ミク」のピンバッジも登場予定！



500円以上の募金で
お礼として贈呈！

新しい風～地域交流の場～ 誕生

栗沢地区に健康づくりと地域住民の交流を目的とした「栗沢はつらつサロン」が誕生しました！毎月、第3金曜日に栗沢市民センターで開催していますので、栗沢地区にお住まいで興味・関心がある方は、一度参加してみてください。
当会では、サロンが体験できる出張ふれあいサロンやサロン立ち上げに関する助成支援を行っています。
お気軽にご相談ください！



赤い羽根共同募金運動が 始まります 10月1日 から

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。
お寄せいただいた募金は、岩見沢市内の様々な福祉活動や被災地支援などに使われます。
皆さまの募金のご協力をお願いいたします。

イオン北海道「幸せの黄色い レシートキャンペーン」

毎月11日の「イオン・デー」に、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを店内備え付けの団体BOXに投函していただくと、レシート合計の1%分が各団体に寄贈されます。前年度分で12万円相当の備品を購入させていただきました。
今年度もご協力をお願いいたします。

「赤い羽根共同募金」や「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の使いみち



ボランティア団体や
福祉団体への活動支援



福祉体験学習



学生のボランティア
体験研修会



除雪ボランティア



地域福祉出前講座

能登半島地震災害義援金 (受付期間：令和6年12月末まで) 受付中

岩見沢市共同募金委員会では、1月5日から義援金を受付しており、個人の方をはじめ町会や老人クラブ等から多くの義援金が寄せられています。



2,890,947円

(令和6年5月末時点 125件)

皆さまの温かいご支援
ありがとうございます。

テント貸出の案内 原則 無料

スポーツ大会や夏祭り等に活用してください！



縦3.6m×横5.4m

【利用について】

- ・市内の法人や団体に限り
ます。(個人は不可)
 - ・利用期間は5日以内です。
(市内での利用のみ)
- ※企業等で営利を目的とする
場合は、1基500円となります。

上記の記事に関するお問合せ ▶ 総務課・地域福祉課 ☎22-2960

求人情報 ホームヘルパー募集中！

【資格】介護福祉士または初任者研修修了者（旧ホームヘルパー2級以上）
普通自動車免許

※1日1～2時間や月1回からの勤務でも可能です！

※資格のない方は初任者研修資格取得助成制度あります！（上限10万円まで）

【お問合せ】訪問介護事業所 TEL 25-6229



求人内容の詳細は
こちらから